

統計品質改善会議（第5回） 議事概要

1. 日時：令和5年8月29日（火）13:30-14:00
2. 場所：中央合同庁舎3号館 国土交通省 総合政策局A B会議室
3. 議事概要：以下のとおり。

【資料の説明】

配布資料『「国土交通省」統計改革プランの主な実施状況』を基に事務局が説明。

【構成員からの主なご発言】

- プラン策定後の1年目までとしては成果を着実に挙げているが、今後は、進捗状況の説明に注力するといった形式的な対応に終始しないようにお願いしたい。
また、この会議や統計の専門アドバイザーの知見を得つつ、統計アナリスト等も育成しながら、後継者にも統計業務の知見が伝わり、かつ、やりがいのある仕事として継承されるように取り組んでいただきたい。
- プランの策定から1年が経ち、委員の一員として進捗を実感している。ただし、これまでは喫緊の課題への対処が中心であったが、今後の主な取組に示されたように、各局と連携して統計の改善を実施することが重要である。それは時間を要するが、計画的に取り組み、一定の成果を挙げることが必要である。また、改革を風化させることなく、他省庁のお手本となるような内容としてほしい。この会議の一員としても応援したい。
また、回答者負担の軽減や国交省の統計担当者の手間の省力化も重要である。予算制約があると思うが、オンライン化やシステム化を進めるべきである。国交省は他省と比べて、統計の担当者数が少ないように思うので、今後の再発防止の観点からも、その取組は重要である。
- 国交省の統計が他省庁と異なるのは1件1件の費用や額が大きいことであり、このため、ミスがあれば大きな影響を与えることになる。その趣旨からは、他省庁と同じではなく、国交省独自の一段強い注意が必要だと思う。
また、これまでの取組は評価できる。これまでは緊急対応が中心であったが、通常の業務においてもしっかり対応ができるよう進めてほしい。
- 誤りの発生可能性は厳密にはゼロにはなり得ない性質のものなので、誤り対応ルールを使いやすいようにしてほしい。
- 改革プランを着実に実行していると思うので、今後も継続して実施してほしい。また、従前はウェブでは国交省の統計情報を見つけ難かったが、最近は改善しているような印象である。マニュアルの整備と併せて、透明性を高め、使いやすい統計を目指してほしい。
- この一年間順調に進めてきたと思う。統計不正問題には業務過多が原因の一つにあったが、省力化できる業務は省力化を進めていくべきである。一方で、統計の作成には想像以上の労力がかかり、省略してはいけない部分は省かないでしっかりやることも必要である。
- 統計改革をEBPMの取組とも連携させ、国土交通省がアドバイザーとして任命している専門家に気軽に相談できる仕組みもしっかりと活用しながら、進めていくことが大切。